


分野	12	就学前教育・保育	通番 13
施策	122	多様な保育サービスの確保	
5年後の目標		子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	病児・病後児保育運営助成事業		会計	款	項	目	19,542,000	子育て支援課
			一般	3	2	1		
事業の概要								
病気や病気の回復期にある子どもが保護者の就労等により家庭で保育できない場合に、一時的に保育や看護を行います。加えて、保育ニーズに応じて新たな病児・病後児保育環境を整備します。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	病児・病後児保育実施施設数				単位	か所
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	1	2	2	2	2
	1(平成26年度)	実績	1	2	2	2	2
<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育事業の健全かつ安定した運営と利用児童への適正な保育実現を支援するため、2法人に対して運営助成を行いました。 ・令和2年度の延べ利用児童は、新型コロナウイルス感染症の影響により、病児保育332名、病後児保育44名の合計376名（前年比6割以上の減）でした。 				病児・病後児保育 あすなろ			
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応員
		達成度合	達成状況	子育てに「非常に不安や負担を感じる」と回答した割合	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・市内2か所で、病児・病後児保育事業を実施しました。 ・病児・病後児保育制度の浸透とともに利用児童が増加傾向にありますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しました。 			
		—			

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き2か所での病児・病後児保育事業を維持できるよう、運営助成等適切な支援を行っていきます。
1:計画通りに進めることが適当	

分野	12	就学前教育・保育	通番 14
施策	122	多様な保育サービスの確保	
5年後の目標		子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	小規模保育施設の充実		会計	款	項	目	535,177,398	子育て支援課
			一般	3	2	3		
事業の概要								
地域の多様な保育ニーズにきめ細かく対応するために、小規模保育施設を充実するなど、年度途中に生じる保育ニーズに適切に対応する施策を検討します。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	小規模保育施設数				単位	か所
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	3	4	6	8	8
	3(平成27年度)	実績	3	5	7	11	13
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市子ども・子育て支援事業計画に基づき施設整備を進めています。 ・小規模保育施設は、平成27年度に3施設、29年度には2施設、30年度には2施設、令和元年度には4施設、令和2年度には2施設が新たに開園し、合計13施設の運営を支援しました。 ・令和2年度の利用定員は13施設合計226名でした。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	子育てに「非常に不安や負担を感じる」と回答した割合	平成30年に実施した調査結果は4.7%であり、前回調査時(平成25年)より1.5ポイント減少しています。		192
		A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・令和2年度には、小規模保育施設13施設の運営を支援し、226名の利用定員を確保することで、乳児(0～2歳児)を中心とした保育環境の充実・改善を行いました。	
課題等	・計画を上回る施設数を整備しており、国基準の待機児童数が0人となるなど0～2歳児の子育て環境が充実してきましたが、増加を続ける小規模保育施設卒園児(3歳児)の保育所等への入所希望に対応することが課題となってきました。				

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期長岡京市子ども・子育て支援事業計画に基づき、次年度以降も引き続き0～2歳児までの保育の場として、小規模保育施設の運営を支援していきます。 ・定員に満たない施設も出ていることから、新規開設については、第2期計画に基づいた慎重な検討を行います。

分野	12	就学前教育・保育	通番 15
施策	122	多様な保育サービスの確保	
5年後の目標		子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	駅前保育施設運営助成事業		会計	款	項	目	14,121,700	子育て支援課
			一般	3	2	3		
事業の概要								
<p>女性の社会進出や地域活動への参加、生きがいづくり等の環境を整備し、公共交通機関に隣接した利便性と立地条件を活かして、夜間保育や休日保育、一時保育等の多様な保育サービスを提供するために、保育施設に対して継続して運営助成をします。</p> <p>また、保育ニーズに即した適切な施策を展開するため、当該事業のあり方等について適宜点検を行い、見直しをしていきます。</p>								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	一時預かり及び早朝・夜間並びに休日保育年間延べ利用人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	438(平成26年度)	目標	450	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない
		実績	523	518	238	242	114
<p>・一時預かり利用児童数は年間延べ103名で、日祝日保育利用は11名、早朝夜間保育利用は0名でした。また、月極保育利用児童は延べ198名で、認可保育施設で補いきれない多様な需要に応じた保育サービスが確保されました。</p>		駅前保育施設の案内					
		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>●月極保育(デイケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ライフスタイルに合わせてご利用方法をセレクト 毎日のデイケアや季節の行事等、お家との連携を大切に、お子さまの成長や発達に即した保育を大切にしています。 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 </div> <div style="width: 30%;"> <p>●一時預かり</p> <ul style="list-style-type: none"> お子さまには楽しい時間を保護者には安心をご提供 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 </div> <div style="width: 30%;"> <p>●その他にも</p> <ul style="list-style-type: none"> お子さまの成長に寄り添った多様なプログラムも用意しています。 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 ●お月極保育料(税込)20,000円 </div> </div>					

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		子育てに「非常に不安や負担を感じる」と回答した割合	平成30年に実施した調査結果は4.7%であり、前回調査時(平成25年)より1.5ポイント減少しています。		192
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・駅前という利便性を活かし、月極保育に加え、認可保育施設が実施できていない事業や、一部は実施しているものの全てのニーズに応えられていない部分を補い、多様化する市民の保育ニーズに応える体制を維持しました。</p> <p>・年々、利用実績が下がっていますが、利用者の就労形態の変化や、認可保育施設等の整備が進んだために、月極保育および一時預かりの利用が減少したのではないかと推測しています。</p>	
課題等			<p>・駅前という立地で高い利便性を持つ反面、他の認可保育施設等と比較して、月極保育料や一時預かりの利用料金が高額であるなど、利用者の経済的負担が大きい施設となっています。</p> <p>・駅前という立地であることから一時預かり保育に対する一定の需要はあるものの、認可保育施設が充実してきたことや新型コロナウイルス感染症の影響もあり、計画策定時より利用者が大幅に減少し、特に、主な目的としていた日祝日利用者および夜間保育利用者が少なくなっています。</p>		

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・保育ニーズに即した適切な施策を展開するため、事業実施方法について検証し、必要に応じ見直しを行っていきます。</p>